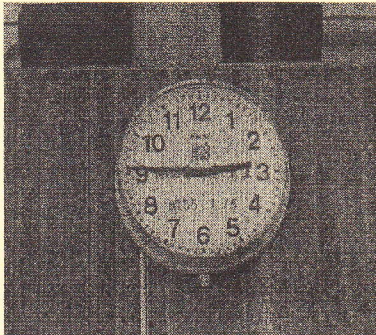


東日本大震災から2年

気仙沼から 復興の声を聞く あなたとわたしができること



<今もなお——>

時計はあの時を刻んだまま！>

<津波から奇跡！>

岩井崎・龍の松>



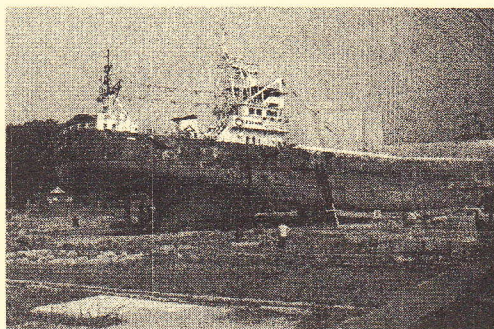
～今こそ、尼崎から市民の草の根の交流を

2011年3月11日の東日本大震災の発生から2年の月日が流れようとしています。

当初は、新聞、テレビも震災一色でしたが、今は断片的に情報が流れる程度になってきています。しかしながら、東日本大震災は、その被害の大きさから復興まで数十年の年月が必要とされており、長期的な支援が必要であることは言うまでもありません。

今回は、本市が東日本大震災でカウンターパート(対応するもの)として職員の長期派遣協定を締結するなど長期支援を決めている気仙沼市から講師をお呼びし、市民の立場で復興に取り組む中から見えてくる現状や課題から市民間の草の根の交流について考えます。

日時	平成25年3月9日(土)13:30~15:30
場所	尼崎市立立花公民館 ホール
講師	気仙沼市唐桑地区サポートセンター センター長 軍司 智之 さん
テーマ	「東日本大震災からの復興と課題」
定員	90人

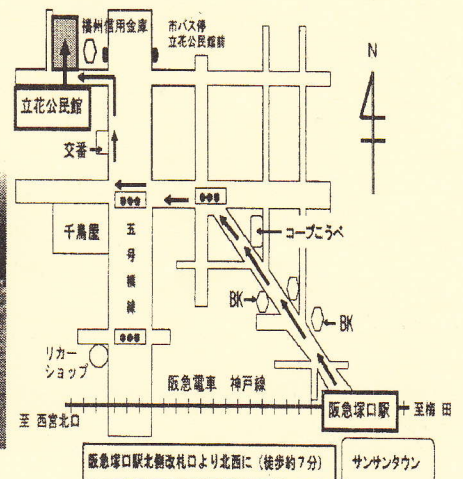
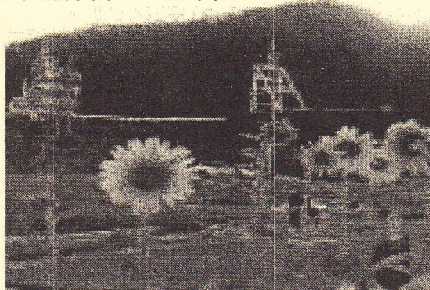


<気仙沼港——ひまわりは咲きました。
しかし、復興はこれからです！>

◎申込 2月4日(月)から
直接来館、又は電話でお申し込みください。

◎立花公民館
尼崎市塚口町3-39-7
Tel 06-6422-6741

◎受講料 無料



主催 尼崎市教育委員会
共催 塚口西コミュニティ推進委員会

公民館は学びを通して人と人が手を結び大きな輪となり地域の力となることを応援します。